

クラブ活動報告

橋立みち子様奉仕社会活動表彰式



白浜ロータリークラブ
奉仕プロジェクト委員会 佐藤 善英

白浜ロータリークラブでは、令和7年12月2日、長年にわたり「しららはまゆう公園」の花々の手入れを、一人で続けてこられた橋立みち子さんへ奉仕社会活動表彰を行いました。橋立さんは、早朝や日中の時間を惜しまず、季節ごとの花の植え替え、水やり、草取り、肥料やりなど、細やかで継続的な管理を無償で取り組まれました。



(写真中央 橋立みち子様)

その姿勢は、誰かに頼まれたからではなく、「地域を美しく保ちたい」「訪れる人に気持ちよく過ごしてほしい」という純粋な思いから生まれたものであり、まさにロータリーが掲げる「奉仕の理想」を体現されています。

しららはまゆう公園は、白浜町を代表する景観スポットのひとつとして、観光客や地域住民の憩いの場となっています。色とりどりの花々が四季折々に咲き誇る風景は、多くの方々の心を和ませ、白浜の魅力をより一層高めています。

その美しい景観の背景には、橋立さんによる絶え間ない努力がありました。

天候に左右される作業でありながら、何年にもわたり継続し、地域のために尽くされてきたその献身に、私たちは深い感謝と敬意を抱きます。

今回の表彰は、橋立さんの長年の功績を称えるだけでなく、「奉仕は身近なところから始まる」というロータリー精神をクラブ全体で再確認する機会にもなりました。橋立さんの行動は、地域に寄り添い、誰かのために動くことの尊さを私たちに教えてくれます。また、こうした個人の善意が地域社会を温かくし、持続可能なまちづくりへとつながることを改めて認識いたしました。

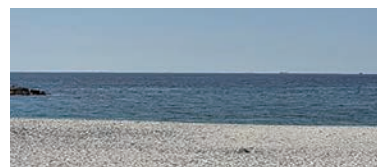
白浜ロータリークラブは、今後も地域とのつながりを大切にしながら、奉仕活動をさらに推進してまいります。

橋立みち子さんの活動が、多くの方々にとって奉仕の心を育むきっかけとなることを願うとともに、そのご尽力に心より感謝申し上げます。



クラブ活動報告

子供絵画展



白浜ロータリークラブ
奉仕プロジェクト委員会 佐藤 善英



(写真右側 尾崎敏久青少年センター長)



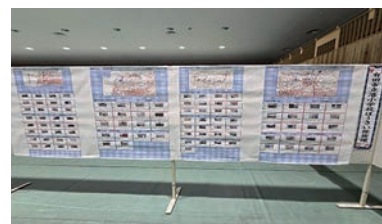
白浜ロータリークラブが毎年協賛している「第38回子供絵画展」に先立ち、主催者である白浜町青少年センターセンター長・尾崎敏久氏をお迎えし、卓話を拝聴いたしました。本絵画展は、白浜町における青少年健全育成の重要な取り組みとして長く続けられており、歴代のセンター長が開催前に卓話を行い、地域の子どもたちを取り巻く現状や課題を報告してくださっています。

尾崎センター長からは、青少年の健全育成を図るうえで最も重要な要素は「家族の絆」であるとのことがありました。家庭の中で安心して自分を表現できる環境が、子どもたちの情緒や創造力を育み、その力が地域の未来を形づくる基盤となるという点が強調されました。



今年の絵画展のテーマは「僕の家庭、わたしの家族」小学校1年生から中学3年生までの児童生徒が、家族への思いをのびのびと描いた力作が多数展示されます。どの作品にも子どもたちの真心が込められ、見る者に温かい気持ちと気づきを与えてくれます。

また、地元小学校の取り組みによる「防災マップ」も併せて展示され、子どもたちが地域の安全を考え自らの目で確かめながら作り上げた成果を知ることができます。これは、防災教育の推進と地域づくりにとって大変意義深い取り組みです。



展示は10月11日(土)・12日(日)午前9時から午後5時まで、白浜会館にて開催されました。地域の皆さまにとって、子どもたちの成長と可能性に触れる貴重な機会となることを願っています。